

特産物の生育状況を秋田市へ報告



7月23日(火)、当JAの役員が秋田市役所を訪問しました。管内産の枝豆とメロンを贈呈し、京極芳郎組合長が穂積志秋田市長らに、農産物の生育状況や管内の農業情勢を報告しました。

京極組合長は「昨年までは2年続いて豪雨被害に悩まされたが、今年の生育は順調で、品質がよく収量も多い。これからも協力しながら、産地を守っていきたい」と話しました。穂積市長らは枝豆「味風香」やメロン「秋田美人」を実際に味わい、農産物の出来のよさを確認しました。

1 今年の生育状況を報告しました

2 枝豆を試食して出来を確かめる穂積市長ら

3 メロンの甘さに感心する穂積市長

NEWS & TOPICS

果樹部会本部設立総会

7月5日(金)、果樹部会の本部設立総会が追分生活センターで行われました。生産者ら約20名が出席し、部会の規約や今年度の事業計画予算案などについて議論を交わしました。

役員の選任も行われ、部会長に男鹿支部長の渡部朋利さん、副部会長に秋田支部長の渡辺良雄さんが選出されました。参加した部会員からは、本部予算の収支計画や栽培品目ごとの役員の選出についてなど、様々な意見が上がりました。

本部事業計画について意見を交わす参加者



JAグループ秋田組織再編協議会を設立

7月11日(木)、秋田市のJAビルでJAグループ秋田組織再編協議会の設立総会が開かれ、県内13JAの組合長や連合会役員などが出席しました。

総会では、県1JA基本構想に盛り込む検討素案の骨子が示されました。協議会の会長に就任した船木耕太郎会長は「皆さんから賛成していただけるような構想をまとめ、5年後に1JAが誕生できるように対応していきたい」と述べました。今後は、「秋田県1JA」の実現に向けた本格的な協議や検討を進めていきます。

あいさつをする船木会長

